

Abstract attach

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-145700

(43)公開日 平成6年(1994)5月27日

(51)Int.Cl.⁵
C 14 C 9/02

識別記号

序内整理番号
8016-4F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号 特願平4-315953
(22)出願日 平成4年(1992)10月30日

(71)出願人 000005511
べんてる株式会社
東京都中央区日本橋小網町7番2号
(72)発明者 遊馬一幸
埼玉県草加市吉町4-1-8 べんてる株
式会社草加工場内

(54)【発明の名称】 皮革用固形補修具

(57)【要約】

【構成】 酸化チタン、カーボンブラックなどの顔料を2~40重量%と、カルナバワックス、キャンデリラワックスなどのワックスを15~35重量%と、フタル酸ジシクロヘキシリエステル、フタル酸ジヘキサデシルエステル、フタル酸ジフェニルエステルなどのフタル酸エステルを30~50重量%を少なくとも含むもの。

【効果】 携帯性に優れ、且つ、補修後乾燥のための待ち時間が不要で、しかも塗布面に光沢がある。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 顔料と、ワックスと、常温で固体のフタル酸エステルとを少なくとも含む皮革用固形補修具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、靴、鞄などの皮革用品の傷を簡便に補修する皮革用固形補修具に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、靴、鞄などの皮革用品は、その表面の美観を維持するために、例えば、靴墨のような顔料と油脂と有機溶剤または合成樹脂エマルジョンとよりなる粘稠なクリーム状物質を用いていた。これは、皮革の保存を良好となすとともに、皮革に光沢を付与することを目的としたものであって、皮革の傷を補修するものではないが、あまり大きくなない傷、例えば、通勤途上で他人に踏まれてできた靴の傷や角に擦られてできた鞄の傷などの補修の為に使用されることもある。また、一部には携帯に便利な皮革用固形補修具などもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記靴墨のような粘稠なクリーム状物質は持ち運びに不便であり、更に、傷部の補修の為に厚く塗った場合乾燥するまでに長時間を有するといった不便さがあった。また、皮革用固形補修具は塗布面の光沢がないという欠点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記粘稠なクリーム状物質の有する不便さを解消し、且つ塗布面の光沢がある皮革用の補修具を提供することを目的とした。

【0005】本発明は、顔料と、ワックスと、常温で固体のフタル酸エステルとを少なくとも含む皮革用固形補修具を要旨とする。

【0006】以下詳述する。顔料は、補修部を皮革用品と同色又は同系色となして補修部を目立たせなくなるために用いるものであって、従来公知の各種顔料を用いることができる。具体的には、カーボンブラック、黒色酸化鉄、黄色酸化鉄、弁柄、酸化チタン、酸化亜鉛、鉛白、リトボン、オーレオリン、バントシェンナー、コバルトクリーン、セルリアンブルー、コバルトブルー、紺青などの無機顔料や、フタロシアニン、ジオキサンジン、アントラキノンなどの有機顔料がある。これらの顔料は1種又は2種以上混合して用いてもよく、その使用量は*

酸化チタン
炭酸カルシウム
カルナバワックス
マイクロクリスタリンワックス
ジヘキサデシルフタル酸エステル
ヒマシ硬化油
ソルボンS-80（界面活性剤、東邦化学工業（株）製）

2

*皮革用固形補修具全量に対して5~20重量%が好ましい。

【0007】ワックスは、本固形補修具の形状を維持するため用いるものであって、キャンデリラワックス、カルナバワックス、木ろう、ヒマシ硬化油、蜜蠟、牛脂硬化油、魚油硬化油、パラフィンワックス、ポリエチレンワックス、マイクロクリスタリンワックス、モンタンワックス、ザーソルワックス等の天然及び合成ワックスが例示できるが、特に、天然ワックスが好ましい。これらのワックスは、1種又は2種以上混合して用いてもよく、その使用量は、皮革用固形補修具全量に対して20~50重量%が好ましい。

【0008】常温で固体のフタル酸エステルは、塗布面に光沢を与えるために用いるものであって、ジシクロヘキシリルフタル酸エステル、ジヘキサデシルフタル酸エステル、ジフェニルフタル酸エステル、ヘキサデシルオクタデシルフタル酸エステル、ジオクタデシルフタル酸エステル（ジステアリルフタル酸エステル）、ジドコシリルフタル酸エステル（ジベヘニルフタル酸エステル）などが例示できる。これらのエステルは、1種又は2種以上混合して用いてもよく、その使用量は、皮革用固形補修具全量に対して30~50重量%が好ましい。

【0009】尚、上記各成分以外、必要に応じて、炭酸カルシウム、マイカ、クレイ、カオリン等の充填材、各種界面活性剤、樹脂、可塑剤、紫外線吸収剤などと併用し得ること勿論である。流動パラフィン、ワセリン、ミンクオイルなどの常温で液体の油脂、鉱物油などを併用することも可能であるが、その使用量は固形補修具であることを考慮すれば10重量%以下であることが好ましい。

【0010】本皮革用固形補修具は、上記各成分を加熱攪拌混合し、また必要に応じてニードル、ロールミル等の混練機で混練し、これを溶融状態で型に流し込み、または射出・圧入若しくは押し出しし、冷却固化して得ることができる。

【0011】

【作用】本発明に係る皮革用固形補修具は、含有される常温で固体のフタル酸エステルの作用により光沢がある塗布面を形成できる。

【0012】

【実施例】以下、本発明の実施例を説明する。

実施例1

14.0重量部
23.0重量部
21.0重量部
1.0重量部
40.0重量部
0.7重量部
0.3重量部

上記成分を加熱二本ロールミルで混練分散を行ない、型※50※に流し込んで冷却し白色の皮革用固形補修具を得た。

3

4

【0013】実施例2

黄色酸化鉄	2. 0重量部
弁柄	2. 6重量部
黒色酸化鉄	1. 0重量部
バートンシェンナ	1. 7重量部
炭酸カルシウム	35. 0重量部
カルナバワックス	20. 0重量部
マイクロクリスタリンワックス	2. 0重量部
ジヘキサデシルフルタル酸エステル	20. 0重量部
ジシクロヘキシルフルタル酸エステル	15. 0重量部
シンセレジンP-100 (界面活性剤、理研製油(株)製)	0. 7重量部

上記成分を実施例1と同様になして茶色の皮革用固形補 * 【0014】実施例3

修具を得た。

カーボンブラック	2. 2重量部
炭酸カルシウム	33. 5重量部
カルナバワックス	25. 0重量部
マイクロクリスタリンワックス	3. 0重量部
ジヘキサデシルフルタル酸エステル	36. 0重量部
シンセレジン	0. 3重量部

上記成分を実施例1と同様になして黒色の皮革用固形補 20* 【0015】実施例4

修具を得た。

酸化チタン	14. 0重量部
炭酸カルシウム	23. 0重量部
キャンデリラワックス	23. 0重量部
マイクロクリスタリンワックス	1. 0重量部
ヘキサデシルオクタデシルフルタル酸エステル	38. 0重量部
ヒマシ硬化油	0. 7重量部
ソルボンS-80	0. 3重量部

上記成分を実施例1と同様になして白色の皮革用固形補 ★【0016】実施例5

修具を得た。

カーボンブラック	2. 2重量部
炭酸カルシウム	33. 5重量部
木蠟	25. 0重量部
マイクロクリスタリンワックス	3. 0重量部
ヘキサデシルオクタデシルフルタル酸エステル	36. 0重量部
シンセレジン	0. 3重量部

上記成分を実施例1と同様になして黒色の皮革用固形補 ☆【0017】比較例1

修具を得た。

カーボンブラック	2. 2重量部
炭酸カルシウム	33. 5重量部
木蠟	61. 0重量部
マイクロクリスタリンワックス	3. 0重量部
シンセレジン	0. 3重量部

上記成分を実施例1と同様になして黒色の皮革用固形補

修具を得た。

【0018】上記実施例1～5で得た皮革用固形補修具を用いて、各々の固形補修具と同じ色の靴の傷重量部に塗布したところ、傷重量部は外観からはほとんど班別できない程度に補修でき、補修面の光沢もあり、補修直後に指で擦っても固形補修具による塗膜は剥がれなかつ ◆50 電色工業(株)製。測定結果を表1に示す。

◆た。

【0019】また、実施例1～5及び比較例1で得た比較用固形修正具を用いて画用紙にむらなく塗描し、日本工業規格 J I S Z 8741 (鏡面光沢度測定方法) の60度鏡面光沢の測定法により鏡面光沢度を測定した。測定器：鏡面光沢度計(VGS-300A)、日本電色工業(株)製。測定結果を表1に示す。

【0020】

【表1】

	測定値
実施例1	38.9
実施例2	42.6
実施例3	44.3
実施例4	34.5
実施例5	45.8
比較例1	0.4

10

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明に係る皮革用固形補修具は、固形状であるために持ち運び（携帯性）に優れ、かつ、補修重量部に塗布した後、補修重量部の乾燥時間が実質的に不要で、しかも塗布面の光沢があるという実用上優れた特性を有しているものである。

【0021】

【手続補正書】

【提出日】平成5年11月25日

【補正方法】変更

【手続補正1】

【補正内容】

【補正対象書類名】明細書

【0013】実施例2

【補正対象項目名】0013

黄色酸化鉄	2.0重量部
弁柄	2.6重量部
黒色酸化鉄	1.0重量部
バートンシェンナ	1.7重量部
炭酸カルシウム	35.0重量部
カルナバワックス	20.0重量部
マイクロクリスタリンワックス	2.0重量部
ジヘキサデシルフタル酸エステル	20.0重量部
ジシクロヘキシルフタル酸エステル	15.0重量部
シンセレジンP-120(界面活性剤、理研製油(株)製)	0.7重量部

上記成分を実施例1と同様になして茶色の皮革用固形補

【手続補正3】

修具を得た。

【補正対象書類名】明細書

【手続補正2】

【補正対象項目名】0021

【補正対象書類名】明細書

【補正方法】変更

【補正対象項目名】0018

【補正内容】

【補正】

【0018】上記実施例1～5で得た皮革用固形補修具を用いて、各々の固形補修具と同じ色の靴の傷部分に塗布したところ、傷部分は外観からはほとんど判別できない程度に補修でき、補修面の光沢もあり、補修直後に指で擦っても固形補修具による塗膜は剥がれなかった。

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明に係る皮革用固形補修具は、固形状であるために持ち運び（携帯性）に優れ、かつ、補修部分に塗布した後、補修部分の乾燥時間が実質的に不要で、しかも塗布面の光沢があるという実用上優れた特性を有しているものである。

First Hit

Generate Collection Print

L4: Entry 4 of 7

File: DWPI

May 27, 1994

DERWENT-ACC-NO: 1994-211036

DERWENT-WEEK: 199426

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Solid repair high gloss material for leather goods e.g. shoes, bags - contains pigment, wax and phthalic acid ester which is solid at normal temp. obtd. by melt blending, forming me into shape, cooling to solidify material

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE	CODE
PENTEL KK	PENL

PRIORITY-DATA: 1992JP-0315953 (October 30, 1992)

Search Selected Search All Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<u>JP 06145700 A</u>	May 27, 1994		004	C14C009/02

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
JP 06145700A	October 30, 1992	1992JP-0315953	

INT-CL (IPC): C14C 9/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 06145700A

BASIC-ABSTRACT:

The solid repair material for leather contains, as essential ingredients, 5-20 wt.% of (A) pigment, 20-50 wt.% of (B) wax and 30 to 50 wt.% of (C) phthalic acid ester which is solid at normal temp.

The material is prep'd. by melt blending the above ingredients and forming the melt into shape followed by cooling for solidification.

(A) includes inorganic pigment e.g. carbon black, black, yellow and red iron oxides, titanium dioxide, zinc oxide, lead white, lithopone, aureolin, burnt sienna, cobalt green, cerulean blue, cobalt blue and Prussian blue, organic pigment e.g. phthalocyanine, dioxazine and anthraquinone and mixt.

(B) includes candelilla wax, carnauba wax, Japan wax, hardened castor oil, hardened beef tallow, hardened fish oil, paraffin wax, polyethylene wax, microcrystalline wax, montan wax etc. and mixt. esp. natural wax.

(C) includes dicyclohexyl phthalate, dihexadecyl phthalate, diphenyl phthalate, hexadecyl-octadecyl phthalate, dioctadecyl phthalate, didocosyl phthalate, etc. and mixt.

ADVANTAGE - The solid repair material mends mars and scratches of leather goods e.g. shoes and bags indistinguishably. It has high gloss and is handy to carry.

CHOSEN-DRAWING: Dwg. 0/0